

# ず〜むあつぱ 「まちの風景」



第3回防災訓練



## ●“地域の安全をみんなで作ろう”

真崎地区委員会「安全・安心部会」では、地域の安全をみんなで作ろうと、12月17日に交通事故防止や防犯を目的に、地元住民60人が地区内を3コースに分け巡回パトロール。また同20日には、村消防本部との共催による第3回防災訓練を行いました。訓練には、災害時の対処法を身に付けようと、地元住民など150人が集まり、関東大震災を例にしたスライド上映やAED(自動体外式除細動器)の講習を受け、いざというときの行動を再確認。17日のパトロールと併せ、地域住民のつながりを強めることで安全で安心して暮らせる地域、「自助・共助・公助」の精神で、事故・災害に対処できる地域をつくる取り組みが行われました。



巡回パトロール



(写真左から) 前々会長の小川志つ江さん、前会長の今橋絹枝さん、村上村長、会長の本多真知子さん、副会長の飛田公子さん、山村サツさん

## ●住民の健康づくりの一翼を担う“食推”に厚生労働大臣賞

10月23日、第39回「全国食生活改善推進員団体連絡協議会大会」が高知県高知市で開催され、「東海村食生活改善推進員連絡協議会」(会長・本多真知子さん)が厚生労働大臣賞を受賞しました。幅広い年齢層の住民を対象とした生活習慣病予防の調理実習や親子料理教室など、地域の健康づくりに寄与するため、35年間にわたり食生活改善の普及・啓発に貢献してきた“食推”。「家庭や地域の方の健康に少しでも役に立てればと続けてきました」と今までを振り返ってくれました。受賞おめでとうございます。

## ●アメリカは「幼」「私」、日本は「老」「公」のボランティア

12月12日、社会福祉協議会主催による第3回「東海村ボランティア市民活動セミナー」が東海文化センターで開催され、タレントのダニエル・カールさんによる講演「日米ボランティア比較」が行われました。ダニエルさんによれば、アメリカのボランティアは「幼いころから“寄付すること”が身に付いている人が多い」「中学生などは車を洗ってお金を稼ぎ、個人で寄付する」。日本はボランティア団体に入り、公のために尽くす活動が多く、高齢者が多い」とし、日米のボランティアに年齢や形態の違いがあることを講話。日本での生活を通して感じた文化の違いをおなじみの山形弁でユーモアを交えながら話してくれました。



セミナーの中で発表された「えがお」のマスコットキャラクター「にこっぴ」(佐藤真利さん(村松在住)考案)。407点の中から選ばれました。